

JEASが情報交換会議を開催 交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクトで

工業会 日本万引防止システム協会(JEAS)は、8月21日にオンラインで、第2回「交通機関と関連店舗の保安強化プロジェクト

情報交換会議」(世の中、安全になって、うれいね、うれしいな)を開催し、21名が参加した。主催は、交通機関と関連

店舗の保安強化プロジェクト。オンラインで発表した企業とタイトルは次の通り。

(同)▽Casley Deep Innovations「データ共有を安心安全に行える次世代の機密分散型ストレージ」▽パトライト「公共交通機関事例、メール検知事例」(同)。

参加者からの意見は次の通り(一部)。

▽「今まで他社様の製品を学べる機会がなかったのが、たくさんの技術進歩があったことに驚きです」。

▽「画像を使った見守り機器の『安全面の規格』を官民一体とて整備する必要があります」と思っています。起人となって推進すべきだと思います」。

▽「TBSテレビ日曜劇場『VIVANT』でカメラがAIにハッキングされているが、そんなことがあつてはならない」。

▽「同業間でこのような協働の学びの場があるのがJEASの魅力です。実際、ここから新たなソリューションが生まれています。世の中、安全になって、うれしいね、うれしいな。と感じました」。



オンライン会議の様子

オンラインで発表した企業とタイトルは次の通り。

▽キャンノンMJ「コンクリ部材・鋼部材を画像からAIから変状検出」(NETIS登録製品)▽セーフィー「製品駅施設や無人駅の警備、本線や施設の点検等」(同)▽サイエンズアーツ「鉄道関係のコミュニケーションプラットフォーム」(同)▽パナソニックコネクスト「エッジAI(画像センシングBOX)」(同)▽タイワ通信「Ugo Pro連携、国際線エリアの警備・案内業務を効率化」▽アクシスコミュニケーションズ「国内の鉄道事例」(同)▽i-PRO「無線通信ユニットを搭載したカメラのソリューション事例」